

## ◇現代社会と青年◇

## 若者があこがれる

## 「与える人生」


 ひろだて いさお  
 室館 勲

 株式会社潮流社 社長  
 株式会社キャリアアコンサルティング  
 代表取締役社長

昨今『カレント』も若い読者が増えています。先月号より始まったリレー連載「先人に学ぶ」（今月号から「現代版 代表的日本人」に改題）、第一回 三浦暁史先生の渋沢栄一の記事は大変好評でした。若者も渋沢栄一に一層興味を持ったようです。私も日本をより良い国にしたいと思ひ勉強してきた中で、渋沢栄一をはじめ素晴らしい偉人の話に出会いました。しかしそれを広めることが難しいのも事実でした。渋沢栄一に関しても、名前しか知らない人が多く、三浦先生とともに広めています。若者たちには「実力のある若者が要職に就き、誠実に働けば、日本は良くなる」と教育をしています。そして、カッコいい大人とは、自分の夢を叶えるだけではなく「いかに社会貢献をしたか」と指導しています。どれだけお金を稼ぐかよりも、社会貢献をした方がカッコいい、社会貢献が幸せな人生につながると伝えていきます。国際化社会において、ニュースや経済番組ではGAFAMを中心とした話題が多

いのが事実です。しかし私は、渋沢栄一が日本の発展のために五百社もの会社を作った話、二宮尊徳（今号70ページ参照）が六百以上の村の復興に尽力した話など、わずか百五十年ほど前の先輩方が、周りの人のために与えた話、その精神にもフォーカスして指導をしています。

コロナ禍でDX活用も重要でしょう。しかし、この機に乗じて一社が利益を独占するなど、強烈的な利益誘導をしている国や企業らに対して規制をかけることは当然です。岡山憲史先生も本誌面上で常々、株式市場において主張されていることです。利益を独占せず、社会に貢献した素晴らしい先輩方は現代の日本にも多くいます。日本発のリアルタイムOS「TRON」を開発し、仕様を公開した坂村健氏。美味しい辛子明太子のレシピを開発するも独占せず公開し「博多名物・辛子明太子」を定着させたふくや創業者の川原俊夫氏。現在、世界的に使用される「QRコード」を開発して特許をオープンにした、デンソーの原昌宏氏。一九六四年東京オリンピックにて初めて使用された「ピクトグラム」の著作権を放棄したデザイナーたち。当然生きていくためにはお金も必要ですし、ささやかな夢を叶えることも素晴らしいことです。しかし、自分ばかり富むのではなく、周りに与える精神で社会貢献をする。その先輩たちの生き方に、若者は感動します。そんな若者の表情を見ると、良き仲間がたくさんいることに幸せを感じています。